

# 住宅ローン利用者の実態調査結果

## <住宅ローン利用予定者調査（2026年1月調査）>

### （概要）

## I 調査の概要

今後5年以内に住宅ローンを利用して住宅を取得する計画がある方を対象に、住宅取得に向けた意識や希望する住宅ローン等について調査を実施し、その結果をとりまとめたものです。

（参考）調査実施時期：2026年1月7日～1月20日、回答数：1,500件

## II 調査結果の主なポイント

< > は、本調査結果の詳細資料中の該当ページ

### 1. 希望する住宅ローンの金利タイプ <p.15>

－「変動型」が37.0%で、2024年4月調査を境に減少傾向－

「変動型」：37.0%（2025年4月調査比 ▲0.1ポイント）

（2024年4月調査比 ▲3.1ポイント）

「固定期間選択型」：32.1%（2025年4月調査比 ▲0.2ポイント）

（2024年4月調査比 ▲1.5ポイント）

「全期間固定型」：30.9%（2025年4月調査比 +0.2ポイント）

（2024年4月調査比 +4.6ポイント）

### 2. 今後1年間の住宅ローン金利の見通し<p.18>

－「現状よりも上昇する」が62.0%、2025年4月調査より6.0ポイント増加－

「現状よりも上昇する」：62.0%（2025年4月調査比 +6.0ポイント）

「ほとんど変わらない」：17.9%（2025年4月調査比 ▲2.9ポイント）

「現状よりも低下する」：9.2%（2025年4月調査比 ▲1.2ポイント）

「見当がつかない」：10.9%（2025年4月調査比 ▲1.9ポイント）

### 3. 希望する金利タイプのメリット・デメリットの理解度 <p.16>

－「理解しているか少し不安・よく理解していない・全く理解していない」と回答している方の合計が61.3%－

本調査結果の詳細は、住宅金融支援機構ホームページ([https://www.jhf.go.jp/about/research/loan\\_user.html](https://www.jhf.go.jp/about/research/loan_user.html))に掲載